

第1回 定例会のあらまし

平成15年第1回定例会が、2月17日から3月6日までの18日間の日程で開かれました。

この定例会では、平成15年度予算ならびに条例の制定や一部改正など市長提出議案65件、議員提出議案1件を審議し、討論(賛成)千葉市議会公明党、21世紀クラブ、民主新政クラブ、市民自由クラブ、五月会、反対)日本共産党千葉市議会議員団、市民ネットワーク)が行われ、採決の結果、平成15年度一般会計予算など16件については、賛成多数により、平成14年度国民健康保険事業特別会計補正予算など49件については、全会一致により、原案どおり可決・同意しました。

また、議員提出議案の千葉市住民基本台帳ネットワークシステムに係る本人確認情報等の保護に関する条例の制定については、賛成少数により、否決されました。

なお、平成15年度一般会計予算などの組み替えを求める動議が提出されましたが、賛成少数により、否決しました。

さらに、意見書2件を審議したほか、各党派の代表質疑が7人の議員により、一般質問が7人の議員により行われました。



花の美術館 (美浜区高浜)

可決した主な議案

総額六千七百四十七億九千二百萬円の 新年度予算を可決

《予算》

*平成15年度各会計予算

平成15年度予算は、新5か年計画の着実な推進を基本としながら、緊急性や重要性などから事業の厳選を行い、花のあふれるまちづくりの推進をはじめ、環境問題への対応や少子化対策などの7分野に重点的に取り組むとともに、事務事業の見直しなど行政改革に積極的に取り組むこととした結果、前年度と比較して1・5%減の、総額六千七百四十七億九千二百萬円となります。

このうち、一般会計予算は、前年度と比較して1・8%減の、三千三百八十一億二千万円に、特別会計(企業会計を含む19会計)は、1・1%減の、三千三百六十六億七千二百萬円となります。

*平成14年度一般会計補正予算

国の経済対策に基づき補正予算を活用し、小中学校の耐震補強に係る大規模改修事業費やトイレ改修事業費、総合スポーツ公園用地買収費、消防艇の建造費などに、合わせて百二十三億一千七百万円を追加します。これにより、一般会計の予算総額は、三千五百九十四億百万円となります。

*平成14年度特別会計補正予算(企業会計を含む)
国民健康保険事業特別会計など8事業会計

に、合わせて六億九千八百萬円を追加します。これにより、企業会計を含めた特別会計の予算総額は、三千四百二十九億七千四百萬円となります。

《条例》

*千葉市コミュニティセンター設置管理条例及び千葉市あすみが丘プラザ設置管理条例の一部改正

*千葉市公民館設置管理条例の一部改正

*千葉市いきいきセンター設置管理条例の一部改正

*千葉市老人福祉センター及び老人デイサービスセンター設置管理条例の一部改正

平成15年5月1日より、各施設の年末年始を除く通年開館を実施するため、それぞれ条例の一部を改正します。

なお、新たに緑いきいきプラザを設置します。

*千葉市病院事業の設置等に関する条例の一部改正

5月1日の青葉病院の開院に伴い、診療科目、病床数などを定めるほか所要の改正を行うため、条例の一部を改正します。

*千葉市国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、保険料の所得割額の算定方法の改正などを行うほか、介護納付金賦課額の保険料率を改定するため、条例の一部を改正します。

千葉市議会議員選挙
投票日は4月13日です。

千葉県議会議員選挙

市民自由クラブ

食の安全について

市民一人ひとりが、健康で明るく元気に生活できるためには、社会生活の基本的要件である「食生活」の一つである、「食」の安全確保は最も重要なことである。

国では、食品安全基本法の制定を目指しているが、この法律の概要、地方自治体の役割と本市の対応について伺う。

Q 食品安全基本法は、食品の安全確保のための包括的な法律で、必要規制の導入及び体制整備、事業者による食品の安全確保、危害発生防止に向けた取組の促進、農産物生産者の生産段階における規制との連携強化の3点を掲げている。

地方自治体の役割の一つとして、大規模、広域な食中毒発生時に国の指示で必要な調査等を迅速に行うこと、食品検査能力の向上の一層の向上が求められている。

本市の対応としては、食中毒の原因となる、病原微生物の検査をより正確かつ迅速に行えるよう、15年度に必要な機器を準備し早急な対応を図っていく。

高齢者保健福祉推進計画について

Q 高齢者保健福祉推進計画には、高齢社会に的確に対応する施策や事業展開が強く求められているが、この計画の目指すべき方向性と重点施策について伺う。

A この計画は、高齢者の方が「生涯健康やかにいきいきと暮らす」ことができるまちの実現を目標に、「介護保険サービスの提供」「生きがいと社会参加の促進」などの3つの施策を総合的に展開するものである。

重点施策として、特別養護老人ホームなどについて国の標準を上回る施設整備を進めるとともに、必要性の高い方から入所できるよう、入所指針を設定するほか、痴呆性高齢者などの緊急シヨトウスティ事業や成年後見制度の利用支援など、介護保険制度をより一層充実した良いものにしていく。

また、高齢者が長年培ってきた知識や経験を、子育て支援などに活用する新たな仕組みづくりを工夫し、高齢者の生きがいと社会参加の促進を図っていく。

さらに、地域社会全体で高齢者を支えていく体制づくりを進めていきたい。



ゲートボールで健康づくり

代表質疑から



2月20日(市民自由クラブ・千葉市議会公明党)、21日(市民ネットワーク・21世紀クラブ・日本共産党千葉市議会議員団)、24日(民主新政クラブ・五月会)の3日間にわたり、7会派の代表から平成15年度予算案などについて質疑が行われました。

日本共産党 千葉市議会議員団

蘇我臨海・サッカー場について

Q 15年度予算は、七十億円も繰入不足となり、今後さらには不足が見込まれる中、「なぜ今サッカー場なのか、ほとんどの市民は急いでサッカー場を造って欲しいとは思っていない。なぜ17年度の早い時期にサッカー場のオープンを目指すのか、その理由について伺う。

また、川鉄の土地は千葉市から1950年になたて渡すとしたが土地取得費がかかるので、たまたま安い一坪四十八円で売り渡された。その土地の一部を二坪二十万七千七百円、合計二百三十億円で千葉市は買収した。蘇我臨海開発全体で、川鉄の資産価値、利益はどれくらいになるのか伺う。

子育て支援について

Q 乳幼児医療費の窓口現物給付が始まることになり、市民の方苦悩されていると聞かされた。一定の所得以上の方への一診療二百円の保護費負担は事実上の値上げであり、一月分では、千円も二千円も赤字に払うことになるので、保護費負担の中止を求める。

また、就学前までの無料化を目指すとして、当面は4歳未満までの年齢引き上げを求めるがどうか。

A 乳幼児医療費助成制度の保護費負担については、現物給付化により、助成額が大幅に増加が見込まれるほか、千葉県国保連合会への新たな経費が必要となることから、一定の所得以上の方から無理のない範囲で負担を求めるため、制度維持のためにも必要と考える。

また、対象年齢の引き上げについては、事業の推移を見守り、今後の検討課題と考えている。



蘇我臨海地域

また、対象年齢の引き上げについては、事業の推移を見守り、今後の検討課題と考えている。

千葉市議会公明党

救急医療体制の整備について

Q 5月1日の青葉病院開院にあわせて開始する夜間外科系救急医療体制の体制、初期体制、後方支援体制について伺う。

また、海浜病院の夜間救急初期診療部における小児科医師の確保や体制の充実について伺う。

A 初期体制については、輪番制により民間病院などに対応し、後方支援については、両市立病院が週5日対応し、残り2日を川鉄千葉病院などの5協力病院にお願いする。さらに、二次体制は、県救急医療センター、千葉大学医学部付属病院などの受け入れをお願いしている。

また、小児救急医療体制については、各大学や病院の医師の派遣依頼のほか、医師会にも要請し、「夜救診」の小児科医師確保に努めている。



5月に開院する青葉病院

市営住宅の整備について

Q 都市基盤整備公団の改革に当たっては、賃貸住宅について民間委託の拡大による効率化や売却に努めることとされたが、これに対する当局の見解を伺う。また、住民が安心して住み続けられるよう、公園

また、都市公園の整備に当たっては、効率化の視点のみではなく、これまで果たしてきた公営住宅としての役割を踏まえ、その公共性を存続させ、居住者が不安を抱かずに生活できるように配慮した改革を行うべきと考え、必要なお働きかけをしていきたい。

また、都市公園の整備住宅を市営住宅として借り上げることについては、住み続けることを希望されている、市営住宅の収入階層の方への対策として、さらには、市営住宅の戸数拡充策の一つとして有効と考えるが、借り上げ料などの課題もある。

現在、千葉市住宅政策審議会に「安心して住み続けられる住まいづくりの推進について」を諮問しており、大規模住宅団地の再生方針の一つとして検討していく。

21世紀クラブ

行政改革について

Q 一昔前の行政改革削減を主たる目的とするマインド思考に基づくものであったが、近年では、量の削減が質の向上へと社会の意識が大きく移り変わったとあり、行政改革の姿勢も変化して当然であると考え、その中で、本市の行政改革の基本的な考え方において、プラス思考の取組は、どのように活かされているのか。また、平成15年度の取組について伺う。

A 本市では、新行政改革大綱に基づき行政改革に取り組んでいるが、事務事業を廃止または縮小したことにより生じた財源は、新たな事業や既存事業の拡大に振り向けることで、行政改革の本来の目的である市民サービスの向上に努めている。

平成15年度において、市

子どもの居場所の確保について

Q 本市における子ども居場所については、大規模団地内に設置された児童福祉センターのほかは、居場所と見られるような自由な活動ができる場所が不足しているように見受けられるが、15年度予算においては、どのような対応を図っているのか伺う。

A 子どもの健康増進や豊かな情操を育むための拠点施設として、中央第六地区市街地再開発事業の中に児童センターおよび子育て支援プラザの整備を計画している。

また、子どもルーム8か所の新設と4か所の施設改善に着手する。



子どもルーム(新宿小学校)

民主新政クラブ

入札・契約制度の改善について

Q 近年の経済状況から、低入札による激しい価格競争が行われている中で、工事などの品質確保および市内中小企業の健全な発展に向けた対策が急務であるが、入札・契約制度の平成15年度からの具体的な改善項目について伺う。

また、契約約款に新たに加入する損害賠償予定条項の率について伺う。

A 入札・契約制度の改善内容として、建設工事に係る低入札調査基準価格制度の対象を、これまでの設計金額1億円以上からWTO適用事業とし、最低制限価格制度の対象を拡大する。また、最低制限価格と低入札調査基準価格とは、土木系で予定価格の80%、建築系で85%の定率で設定する。

損害賠償予定条項については、請負金額の10%と

ディーゼル車対策について

Q 千葉県を含む1都3県では、今年10月1日から条例によるディーゼル車の運行規制が開始されることとなっており、自治体の役割は極めて重要となつてきている。そこで、公用車への低公害車の導入(PM(粒子状物質)減少装置装着の現状と今後の対応)について、また、民間事業者に対する支援措置について伺う。

A 公用車については、現在、天然ガス自動車



公用車に導入されている天然ガス自動車

市民ネットワーク

市民参加について

Q NPO活動を活性化するための方策、NPOと行政の協働を推進するための行動計画策定に対する考えについて伺う。また、市内のNPOと協力して、千葉市とNPOのパートナーシップのルールづくりを推進する必要があると考えるがどうか。さらに、市民参加条例の制定に向けての取組を伺う。

A 本市では、NPO活動の活性化を促進するため、平成13年に基本指針を策定するとともに、昨年10月には市民の公益活動を支援する拠点施設として、千葉市民活動センターを開業し、活動場所や活動団体の情報の提供を行っている。また、14年度内に、同センター運営協議会を設置し、運営形態、NPO活動の活性化や推進方策などを検討していただく予定である。

特別教室の開放モデル事業について

Q 開かれた学校への試みとして、小学校の特別教室の開放モデル事業が実施されるが、今までに地域開放型として建設された学校数、開放までの経過、活用できる教室、時間について伺う。

A モデル事業の期間と今後実施校を増やしていくことについて伺う。

A 開かれた学校への試みとして、小学校の特別教室の開放モデル事業が実施されるが、今までに地域開放型として建設された学校数、開放までの経過、活用できる教室、時間について伺う。

A モデル事業の期間と今後実施校を増やしていくことについて伺う。



千葉市民活動センター(中央コミュニティセンター1階)

五月会

モノレール事業に対する県の関係について

Q 都市モノレール事業の協定書に基づき協議を進めることとなっているが、県は厳しい財政状況から、多額の財源を伴う延伸計画などに対し難色を示している。しかしながら、モノレール整備は本市にとって重要な課題であるため、交渉に当たっては、断固とした態度で臨むべきと考え、市長の見解を伺う。

A 住みよいまちづくりを進める上で、県と市の信頼関係は必要不可欠であり、都市モノレール事業における協定の遵守は双方の基本的な務めと考え、延伸計画については、一貫してその重要性を主張してきたが、「千葉都市モノレール検討調査委員会」の提言において、経営改善や延伸事業の単線化などにより、赤字額が縮減されると評価されており、意を強くしている。

延伸計画については、一貫してその重要性を主張してきたが、「千葉都市モノレール検討調査委員会」の提言において、経営改善や延伸事業の単線化などにより、赤字額が縮減されると評価されており、意を強くしている。

公共下水道について

Q 市街化調整区域の公共下水道整備が広範囲に進められており、東金街道については、本管理区工事や野呂団地前まで完了している。そこで、東金街道沿いの団地外区域の整備および今後の整備区域に対する考え方、大宮地区などにおける進捗状況について伺う。

A 東金街道沿いの団地外区域の整備および今後の整備区域に対する考え方、大宮地区などにおける進捗状況について伺う。

A 東金街道沿いの団地外区域の整備および今後の整備区域に対する考え方、大宮地区などにおける進捗状況について伺う。

可決した意見書

議員提出議案として2件の意見書を審議し、いずれも可決しました。可決した意見書は、関係行政機関に提出しました。

- 地域における雇用対策の拡充強化を求める意見書
- 国から地方への税源移譲に関する意見書



千葉都市モノレール1号線

また、下水道未接続世帯は、14年12月末で接続可能世帯33万3000世帯のうち約1万5000世帯であり、この解消のため、訪問説明などを継続して行っている。

委員会審査・調査から

常任委員会



経済教育委員会審百風景

保健下水道委員会

一般会計補正予算や千葉市老人福祉センターおよび老人デイサービスセンター設置管理条例の一部改正など議案15件、請願3件、陳情3件を審査し、老人福祉センターといきいきセンターの設置管理条例の一部改正に関し、通年開館に係る所要経費および必要な職員配置などについて、質疑がありました。また、千葉市知的障害児通所施設設置管理条例等の一部改正に対しては、施設運営の基本原則についての修正案が提出されましたが、原案のとおり可決しました。

▼介護保険料の引き上げ中止を求める請願 不採択
▼国民健康保険の改善・充実を求める請願 不採択

2月28日に開かれ、市長提出議案44件、議員提出議案1件、請願・陳情9件を審査しました。その結果、すべての市長提出議案は可決となり、議員提出議案の千葉市住民基本台帳ネットワークシステムに係る本人確認情報等の保護に関する条例の制定については否決となりました。また、請願・陳情は、不採択2件、継続審査7件となりました。

総務委員会

一般会計補正予算や千葉市情報公開条例の一部改正など市長提出議案14件、議員提出議案1件を審査し、情報公開条例の一部改正に関し、条例改正により対象となる独立行政法人などの範囲や放射線医学総合研究所の情報を保有した場合の取り扱いについて、質疑がありました。



緑いきいきプラザ(緑区誉田町)

環境建設委員会

一般会計補正予算や千葉市水道事業の設置等に関する条例の一部改正など5件を審査し、一般会計補正予算中、新港横戸町線事業費に関し、当初計画

における交通需要予測や総事業費の変更見込み、地域住民への事業説明の状況について、質疑がありました。

平成15年度一般会計および特別会計予算案を審査するため、2月24日に、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、計5日間にわたり審査しました。

一般会計補正予算や千葉市公民館設置管理条例の一部改正など8議案を審査し、一般会計補正予算中、快適トイレ改修事業に関し、本事業の対象校、小・中学校の改修費における積算の違い、対象箇所を拡充する考えについて、質疑がありました。

3月5日の予算審査特別委員会では、分科会報告の後、各会派の意見表明が7名の委員により行われ、15年度各会計予算を原案と可決しました。なお、次の6項目の指摘要望事項は、予算審査特別委員会が市長に要望したものです。

都市消防委員会

一般会計補正予算や千葉市公園条例の一部改正など議案6件、陳情3件を審査し、一般会計補正予算中、水上消防体制整備事業に関し、消防艇乗務員の勤務体制、遭難などへの対応について、質疑がありました。

指摘要望事項

財政運営については、引き続き厳しい財政環境にあるため、各種財源の確保と債務残高の削減に一層留意すること。
また、社会経済情勢の変化を的確にとらえ、より効率的な予算執行となるよう努めること。

大都市税財政制度・地方分権調査特別委員会

2月14日に開かれ、平成15年度国家予算に関する要望の経過報告などについて協議しました。

少子・高齢化社会対策調査特別委員会

1月30日に開かれ、高齢者の生きがい対策について協議しました。

予算審査特別委員会

- 委員長 長石 橋 毅
- 副委員長 内藤 靖 夫
- 第一分科会主査 内藤 靖 夫
- 同 副主査 小関 寿 幸
- 第二分科会主査 石橋 毅
- 同 副主査 常賀 かつ子



議場コンサートのご案内
6月6日(金)午後1時から、第2回定例会の開会に先立ち、本会議場で、東京フィルハーモニー交響楽団による演奏を20分程度予定しています。
お聴きになりたい方は、当日議会棟1階傍聴受付までお越しください。傍聴席は92席です。

表紙から
表紙の写真は、美浜区高浜にある、花の美術館です。
8年に開館してから、今年で8年を迎え、延べ100万人以上の方が訪れています。
屋外の庭園には、四季折々の花が咲き、1年を通して楽しむことができます。
3月にはパンジーフェアが行われ、4月8日から13日まではチューリップフェアが行われます。
また、熱帯・亜熱帯植物が育つ温室、室内花壇のある展示棟などが整備されており、フラワーアレンジメント・園芸などの講座が開催されています。

「ちば市議会だより」発行委員会
問い合わせ先 議会事務局調査課
043(245)5472

この市議会だよりは100%再生紙を使用しています

お知らせコーナー

千葉市議会ホームページのご案内

会議日程や会議の結果などを掲載しています。さらに会議録の検索と閲覧もできます。

- ホームページアドレス
<http://www.city.chiba.jp/gikai/>
- 会議録の検索と閲覧
<http://asp.db-search.com/chiba-c/>

傍聴のご案内

平成15年第1回臨時会は、5月13日(火)に、第2回定例会は6月6日(金)に開会する予定です。
本会議は、原則として公開していますので、どなたでも傍聴できます。傍聴は、本会議の当日、議会棟1階で受け付けています。